

令和6年度 8月の補導活動

佐久市少年センター

1	街頭補導実施回数	17回
2	延べ従事補導委員数	65人
3	相談件数	0件
4	補導した少年数	2人
5	声かけ人数	319人



8月の活動日誌から

8月2日（金）

14班（S・T） 記

巡回経路 中込駅 → グリーンモール → 成知公園 → 中込児童館 → 学童保育
活動の様子

夏休み中の猛暑の中での街頭補導活動となった。「グリーンモールで高校生と思われる男女が不適切な行為をしていたのを目撃した」との連絡があったので、連絡者と面談し、その状況をお聞きした。その後、成知公園・中込児童館・学童保育を訪問した。成知公園では、猛暑の中、サッカーの練習をしていた大学生と高校生の兄弟、ブランコで遊んでいた児童1名に声かけをした。児童館・学童保育では、大勢の児童が夏休み中も利用しているようであり、訪問時も元気よく遊んでいる児童が多数いた。共働き家庭では、夏休み等の長期休暇中にこのような施設を必要とする家庭が多くいると思う。児童を預かる施設の環境を見ると熱中症アラート等に十分配慮してくださっているようであるが、室内が相当暑くなっており、更なる冷房等の設備の導入を検討していただければと感じた。

8月3日（土）

夜間街頭補導（臼田よいやさ）

17班（I・S） 記

概要

巡回を開始したころ、打ち上げ花火終了間近のアナウンスがあり、花火鑑賞していた人々が帰路につく様子もみられた。思いのほか人出が多いように感じた。最寄りの臼田駅での電車待ちの人は、上下線合わせて20名ほどいた。21時には歩行者天国が解除となり、その時間以降、人出はほとんどなかった。巡回中、トラブルなどの問題はなかった。

8月5日（月）

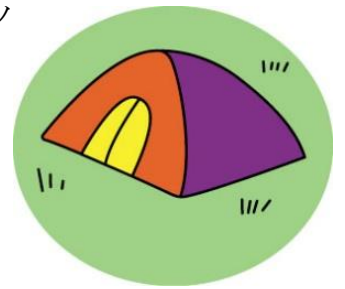
9班（U・T） 記

巡回経路 生涯学習センター → 道の駅 → さくらさく小径
→ 千曲川スポーツ交流広場 → 生涯学習センター

活動の様子

生涯学習センター1階「つどいの広場」および2階の学習室では、夏休み中ということもあり、小学生から高校生まで多くの児童・生徒が勉強中でした。厳しい暑さが続いているので、少しでも[涼]を求め学習センターへ足を運んでいる

のでしょう。さくさく小径には散歩等を楽しむ姿は見当たりませんでしたが、日陰にテントを張って遊ぶ親子連れがいました。千曲川スポーツ交流広場に人影はありませんでした。



8月6日（火）

1班（K・M） 記

巡回経路 大型スーパー → 市民交流ひろば → ミレニアムパーク
→ 佐久平駅 → 大型スーパー内ゲームコーナー

活動の様子

今日は、雨が降った後での巡回でしたので強い日差しはなく、動きやすかったと思います。大型スーパーでは、子どもたちも夏休みになり、賑わいを見せていました。市民交流ひろばでは、雨も上がり、3組ほどの高校生がいたくらいでした。芝は、いつもきれいに刈られていて感心します。佐久平駅では、この時間も帰省の方が多く感じられました。大型スーパー内ゲームコーナーの従業員に近況を聞いたところ、異状はないそうです。

8月8日（木）

16班（I・K） 記

巡回経路 あいとぴあ → パチンコ店 → 下の宮公園 → 臼田図書館
→ 青沼児童館 → 臼田駅 → あいとぴあ

活動の様子

パチンコ店を訪問し、最近の様子をお聞きしました。1時間ごとに施設周辺の見回りをし、車内に取り残されている子どもがいないか、車内で体調が悪い人がいないかなどをチェックしているとのことでした。また、18歳未満の入場には気を配り、18歳未満と思われる人については身分証明書の提示を求めて年齢確認をしているとのことでした。今後の年齢確認継続をお願いしました。下の宮公園では、いつも遊んでいる小学生が、今日も野球をやって楽しんでいました。臼田図書館では「夏休みに入り、利用者が増加している」との説明を受けました。館内では、静かな環境の中で、生徒たちが勉強に励んでいました。特にトラブルはないとのことでした。青沼児童館は、18～25名程度の児童が利用しているとのことでした。今年度開校した『さやか星小学校』の児童も利用しているようで『臼田小学校』児童とも仲良く過ごしているとのことでした。臼田駅では、夏休み中ということもあり誰もいませんでした。

8月9日（金）

3班（I・S） 記

巡回経路 大型スーパー → 市民交流ひろば → 佐久平駅前交番
→ ねむのき公園 → 佐久平浅間児童館 → 大型スーパー

活動の様子

大型スーパー内のゲームコーナーで何人かに児童生徒に声かけをしました。また、従業員にお聞きしたところ「いつもよりお客が多くて大変ですが、問題は発生していない」とのことでした。フードコートテーブルは、ほぼ満席状態で大勢の人が勉強したり、お茶会をしたりしていました。大型スーパーは何回も巡回しましたが、これほど多くの人が集まっていたのには驚きました。佐久平駅前交番で、最近の犯罪情勢や少年非行の状況についてお聞きしました。佐久平浅間児童館では、20名くらいの子どものテレビを見ていました。スタッフは、「夏休み中は70～80名、通常は140名くらいの来館児童の対応をしている」

とのことで、大変な仕事であると感じました。また、親にとって、大変ありがたい施設であると感じました。突然の訪問にもかかわらず、スタッフの方が気持ちの良い対応をしていただきました。これからも頑張ってください。

8月13日（火）

15班（K・Y） 記

巡回経路 中込駅 → 横町公園 → 平賀新町公園 → 佐久総合運動公園
→ 佐久城山児童館 → 成田公園 → 成知公園 → 佐太夫町公園

活動の様子

お盆の入りの日のためか、どの公園にも人影はなく、成知公園にわずかに児童がいただけでした。普段は60人ほどの児童が来館してにぎやかな佐久城山児童館でさえ、5人が利用していただけでした。補導巡回としては拍子抜けでしたが、何も問題がない方がよいのかもしれません。

8月14日（水） 夜間街頭補導（浅科どんどん）

18班（M・Y） 記

概要

『浅科どんどん』夜の部で、納涼花火大会が開催された。夏の夜空を彩るスターマインをはじめ、約2,000発の花火が打ち上げられた。会場へ向かう道沿いには、シートや椅子に座り、夜空を見上げている家族が大勢いる。本部の周りには、夜店が立ち並び、良い匂いが立ち込めている。家族連れがほとんどで若者のグループはあまり見かけない。全体に昨年より人出が少ないように感じた。花火の打ち上げ前に、提供者のアナウンスがあり、それを聞いてから打ち上げられた花火を見る間隔が小規模花火大会の良いところだ。終了間際に雨が降り出し慌てて帰路についた。



8月15日（木） 夜間街頭補導（榊まつり） 19班（H・T） 記

概要

今回は、『信州の奇祭』と言われ、長い歴史を持つ榊まつり会場で街頭補導活動を行いました。私の子ども時代、このお祭りは賑やかで、若干の危うさを秘めた非日常空間で大きな楽しみでした。そんな子ども時代の思いを胸に中学生グループに声をかけると「お祭りを存分に楽しみ、あまり遅くならないように帰ります」と言っていました。また、若者グループはお祭りでの久しぶりの再会を楽しんでいるようでした。近年は、コロナ禍や若者の減少により、神輿の担ぎ手が少なくなり、祭りの継続も危ぶまれているようですが、伝統ある祭りが続いていくことを願います。

8月16日（金）

10班（T・M） 記

巡回経路 生涯学習センター → 大沢地区社会体育館 → 岸野児童館
→ 生涯学習センター

活動の様子

子どもたちが夏休み中の巡回日。生涯学習センターでは、中学生・高校生が多いという印象を受けました。1階の『つどいの広場』では、大きな声で騒いだりする様子もなく、2階の『学習室』では高校生が静かに勉強をしていました。自動販売機の前にいた中学生に声をかけたところ、中学生は受験生とのことで「高校に行ったら部活を頑張りたい!」という話を聞き、応援したいと思

いました。大沢地区社会体育館近くのグラウンドでは、1組の親子がスポーツをしていました。岸野児童館の来館児童はいませんでした。送り盆の日であったので、利用する児童がいなかったのかもしれませんが。

8月19日(月)

11班(S・K) 記

巡回経路 生涯学習センター → 城山公園 → 原公園 → 泉児童館
→ 泉野団地内公園 → 泉団地内公園 → 旧前山小学校
→ 弥生が丘団地内公園 → 旧桜井小学校 → 生涯学習センター

活動の様子

曇り空でしたが、気温が高く蒸し暑い午後でした。生涯学習センター2階の学習室では、20名ほどの児童・生徒が真剣に勉強していました。3名の中学生が、学習室の外にあるテーブル席で夏休みの宿題に取り組んでいました。猛暑のためか、屋外で遊ぶ子どもの姿はありませんでした。唯一見かけたのは原公園で、公園の奥の方で一人がバドミントンをしていました。泉児童館では42名の利用者があり、巡回した時には、十数名の児童が、ピアノや読書、腕相撲など、にぎやかに過ごしていました。泉小学校は、8月26日から2学期が始まると、掲示してあった予定表で知りましたが、自分が小学校のころは、お盆が終わるとすぐに2学期が始まったことを思い出してしまいました。



8月20日(火)

6班(K・I) 記

巡回経路 大型ゲームセンター → 曽根公園 → ネットカフェ → パチンコ店
→ 仙祿湖公園 → 中学校グラウンド → 大型ゲームセンター

活動の様子

わずかな時間でさえ外で待ち合わせるのは、つらい日差しだった。すぐ、大型ゲームセンターに入る。冷房のありがたさを感じホッとする。ゲームセンター内には、子どもたちだけの姿はなく、家族連れ・保護者同伴の児童が多かった。その中で、男子中学生2人がゲームを楽しんでいた。声をかけたところ、後ろにいた成人女性を指し「姉と一緒に小諸から来た」と話してくれた。次に訪問したネットカフェでは、店員さんから『子どもたちへの声かけ』『年齢確認』『身分証明書の提示を求めて会員証を発行していること』など、きめ細かく指導していただいていることを説明していただいた。隣接のゲームセンターには、お客さんの姿はなかった。パチンコ店では、店長さんから「18歳未満の方の入場はお断りで、18歳未満かもしれないと思われる人には声かけをして注意している」と説明していただいた。訪問したすべての店舗には、『青少年健全育成協力店』のステッカーが貼られており、子どもたちの健全育成に協力していただいていることに感謝したい気持ちになった。このほかに訪問した公園と中学校のグラウンドには、この暑さのせいか子どもたちの姿はなかった。

8月21日(水)

4班(T・A) 記

巡回経路 大型スーパー(フードコート・ゲームコーナー) → 市民交流ひろば
→ ミレニアムパーク → 佐久平駅 → 大型スーパー

活動の様子

大型スーパー内のフードコートでは、夏休みの課題に取り組んでいる高校生が多かった。8月27日から2学期が始まるとのこと。同ゲームコーナーでは親子連れが多くて驚いた。ゲーム代がキャッシュレス決済なので親が一緒なのかもしれない。市民交流ひろばでは、日差しが強く暑いので、屋根のあるベンチや木陰で話している人がいた。人数は少なかった。佐久平駅には、全国中学校体育大会の柔道大会が佐久の武道館で行われているので佐久の各学校書道部の皆さんの応援メッセージの旗がずらりと並んでいて歓迎の思いが伝わっていると感じた。



8月22日（木）

13班（I・K） 記

巡回経路 中込駅 → 成田公園 → 佐太夫町公園 → 成知公園 → 中込児童館
→ 平賀新町公園 → 水上公園

活動の様子

今日は、いつもより風があり、涼しい時間帯でした。とは言え、猛暑のせいかな？ 夏休みが終了に近いせいかな？ 子どもたちの姿がどの公園にも見当たりませんでした。中込児童館では3名の4年生と話し、キャンプに行った話をしてくれました。今の子どもたちは、2～3つの習い事しているようです。大変です。

8月26日（月）

専門補導委員 記

巡回経路

浅間会館 → 龍雲寺 → 円満寺 → 小田井児童館 → ねむのき公園
→ 浅間会館

活動の様子

暑い日が続いていたが、今日は秋風が頬を撫でる心地よい気候の中での街頭補導活動となった。浅間会館を出発し、まず、円満寺境内に向かったこの場所は下校途中や近隣に居住する児童生徒が会話している姿を見たことがある。子どもたちのコミュニケーションを図る憩いの場所なのかもしれないが人影はなかった。小田井児童館を訪問、玄関前で私たちの姿を見た児童から「だれ？」「何しに来たの？」等、矢継ぎ早の質問攻めにあった。首に吊るしてあった専門補導委員の名札を示し「読んでみて」と言うと、小学5年生という男の子が「佐久市教育委員会・・・」としっかりした口調で名札の漢字を読んでくれ「教育委員会の人か」と納得したような感じで話してくれた。児童館に入ると、ひまわり・スイカ・カブトムシ・かき氷などの折り紙で作った『吊るし雛』のような飾りが目に入った。館長さんにお聞きすると、「職員と児童が協力して作成した」とのことであった。とても上手にできていた。子どもたちにとって思い出の一コマになってくれればいいなと思った。ねむのき公園では、数名の児童がおり、何人かは質問にきちんと答えてくれたが、ゲームに夢中になっている3人は、質問の声が聞こえないのかバーチャル空間に没頭していた。現代社会の一面を垣間見たような気がした。

8月27日（火）

12班（K・S） 記

巡回経路 生涯学習センター → 取出町ふれあい公園 → 東田公園
→ 高柳公園 → 中嶋公園 → 城山公園 → 生涯学習センター

活動の様子

生涯学習センターは、学習に励む小・中・高校生でにぎわっていた。各グループの子どもたちに声かけをした。東田公園では、3～4名の小学生がいたので声かけをした。城山公園では、10名ほどの中学生がサッカーをやっていた。また、7～8名の小学生がゲームをやっていたので声かけをした。自分が子どもの頃は、ゲーム機などなかったので時代の移り変わりを感じた。

8月28日（水） 学校訪問（中佐都小学校）

5班（I・T） 記

概要

待ち合わせの小学校に着くと、大勢の子どもたちがグラウンドで野球を楽しんでいた。校長先生、生徒指導の先生が出迎えてくださり、自己紹介の後、学校の概要、児童のようすの説明を受けた。これからこの地域では、人口が増える傾向にあり、イオン、フォレストモール、さらに数日前にはドン・キホーテも開店し、子どもたちの行動範囲にも変化が見られている。また、学校前の県道拡幅で、来年度は中佐都インターまで一直線に道路が結ばれるため、交通事情にも大きな変化が生じそうである。この小学校でも、今後の環境変化が大きくなることが予想され、柔軟で臨機応変な対応が迫られそうである。

8月29日（木） 学校訪問（佐久長聖中学校）

2班（K・T） 記

概要

佐久長聖中学校の学校訪問をする。初めに、学校と佐久市少年センターが相互に概要を話し、現況を報告した。最後に、意見交換が行われ、スマホ・SNS等に関わる問題を話し合う。佐久長聖中学校では、他校と比べて問題は少ないとのこと。また、今年より小学校が併設されたため、学校が明るく賑やかになったとの学校側の説明を聞き、うれしい気持ちになりました。



8月30日（金）

8班（K・Y） 記

巡回経路 大型スーパー → 大型スーパー内ゲームコーナー・フードコート
→ 平根児童館 → 大型スーパー

活動の様子

台風10号の影響で、時折強い雨が降る午後でした。大型スーパーのフードコートには、6組ほどの高校生のグループと、数人の買い物客が思い思いに時間を過ごしていました。さすがにこの天気では客足が鈍いのもうなずけます。ゲームコーナーでは、8名ほどの高校生、2組の親子連れ、年配の夫婦がゲームを楽しんでいました。店内で出会った警備員さんに最近のようすをうかがうと、特に問題はないと答えてくれました。平根児童館では、天候不順のため、児童は全員が室内で活動していました。宿題、鬼ごっこ、読書、積み木、ブロックなど、どの子も楽しそうに時間を過ごしていました。1日50名から60名が児童館を利用しているとのことですが、職員さんは、暑い夏休みが終わり、少しホッとしていると本音を話してくださいました。館を去るころには、迎えの保護者の姿もちろほら見られました。

◀ 8月の活動を終わって。 専門補導委員 Y・K ▶

7・8月に行われた各地域の祭礼等では、夜間の街頭補導活動に従事していただきありがとうございました。このほかに学校訪問や東信四市連絡会が開催され、学校や他市の方との情報交換が行われ有意義な活動を行うことができました。

9月には、（すでに実施したものもありますが）

◎ 学校訪問

5日（木） 地球環境高校（15班）

12日（木） 野沢中学校（12班）

13日（金） 浅科中学校（18班）

19日（木） 東小学校（8班）

◎ 佐久市子どもまつり

8日（日） 佐久市市民創錬センター

◎ 第3回理事会

20日（金） 市役所南棟3階大会議室
が予定されています。よろしくお願いいたします。



さて、7月3日に日本銀行券（紙幣）が新しくなりました。新1万円札の肖像は、生涯で数多くの企業の設立や運営、また、福祉施設・医療施設などの社会公共事業に携わるなど幅広い分野で活躍した渋沢栄一翁となりました。翁は「信州佐久小県は第2の故郷」と語っていたようで、佐久出身の私は翁にお会いできるのを心待ちにしていました。しかし、キャッシュレス決済が多くなった影響か、私が翁にお会いしたのはこれまでに1回だけです。その1枚は、現在妻の財布の中にあり、翁も第2の故郷佐久の地から離れず、財布の中で穏やかに過ごされています。

新札の発行といえ、かつて、新渡戸稲造博士が5千円札の肖像になりましたが、浅学非才な私は博士の名を聞いて、当時「だれ？」と思ったことを鮮明に覚えています。その後、博士の生涯や功績を調べる中で、『武士道』という本を著したことを知り本を求めました。いくつかの名言がありますが、この中で『武士道精神は、知識を重んずるものではない。重んずるものは行動である』『武士道は、損得勘定をとらない。むしろ足らざることを誇りにする』という言葉があります。

40代で剣道『練士7段』に合格した知人がいますが、彼に電話した時、武士道の話になりました。彼は剣道について「『大切なのは、勝ち負けの結果ではない。相手を敬う心、礼を尽くし相手に失礼なことをしてはいけない。打って反省・打たれて感謝の気持ちが大切である。』と教えられ、心掛けています。」と答えてくれました。

フランスのパリでオリンピック・パラリンピックが開催されました。私はスポーツで優れた結果を求める（メダルを取る）こと、それは素晴らしいことだと思いますが、結果だけが目的ではないと思います。それを目標に日々努力することが大切であると思います。インタビューで、多くの選手が対戦相手の健闘をたたえ、さらに監督・コーチ・家族などお世話になった方に対して感謝の言葉を述べていました。本人のたゆまぬ努力、周囲の多くの方の支援を想像し、自然と目頭が熱くなり涙腺が緩んだ方が多くいたのではないのでしょうか。

9月9日は五節句の一つである「重陽の節句（菊の節句）」。「無病息災・豊作などを祈りつつ、当日解禁される『ひやおろし』の冷酒に菊花を浮かべ、これまでにいただいた様々な方に対する感謝の気持ちを胸に、盃を傾けました。『日本人としての精神・文化』そして『日本人として生まれた喜び・誇り』を感じるこの頃です。